

## 第9回 椋の実句会

(二〇二二年七月四日)

兼題 「半」

半ドンも消えゆくことば冷素麺

(山音) 6点

◎雀…ほんの少し前の時代なのに当時の庶民の暮らしぶりに郷愁を感じる。冷素麺がぴったり。

うつろなるゼリーが胸を通りけり

(しつぽな) 7点

◎節子…喉でなく「胸」なのが良いと思いました。

月見草半獣神へ開きけり

(としこ) 8点

◎ぱんだ…ギリシャ神話の挿し絵のよう。幻想的な魅力。

やまもの零れやすきにいよよ雨

(しずか) 9点

◎雀…季節の移ろいに気づかされる現象の一つ。ことばの響きも内容にふさわしい。

空蟬と古き映画の半券と

(りん) 6点

◎潤一…空蟬と半券もすでに必要ないものではあるが余情を生み出していく

畑なかに伏せてある籠半夏雨

(くるみ) 6点

◎雀…こういう景、よく見るような気がしてくるところがいい。意味でなく郷愁。

半島の暮れゆく日傘閉ぢにけり

(イネ) 9点

◎さや…広い景に閉じる日傘がさびしく美しいです。

紅薔薇に想ひ出に水やつてゐる

(みやこ) 9点

◎すみれ…「紅薔薇」と「おもいで」育つといいですね。

一禽のこゑる雨に聴く半夏かな

(とちおとめ) 9点

◎めぐみ…静かな雨の中、鳥でしようか聴こえてくるような心地になりました。

スクロールしても常しへに梅雨空

(節子) 8点

◎雀…憂鬱な気分がよく伝わってきました。

土用芽やジャングルジムの握り艶

(まきこ) 7点

◎砂流…かつては自分もジャングルジムで遊んだ。季節は巡り子どもたちは成長していく。

落石注意胡桃の花が揺れてゐる

(千津子) 4点

◎翠筆…ついこの間見た景。素直な読みぶりが良いと思いました。